

平成 21 年 6 月 15 日現在

研究種目：基盤研究（B）海外

研究期間：2006～2008

課題番号：18402026

研究課題名（和文） 在米日系企業接收文書の総合的研究

研究課題名（英文） General Study of Seized Documents of Japanese Shosha in NARA

研究代表者 上山 和雄（UEYAMA KAZUO）

國學院大學・文学部・教授

研究者番号：40137790

研究成果の概要： 米国・オーストラリアの接收企業文書を調査し、従来から掌握しているデータと併せ、米国に関しては全商社の全エントリーの概要、主要コンテナの内容も把握し、それを私家版として刊行・配布した。国内機関・個人がマイクロとして所蔵している資料は CD.R 化し、またハードコピーも電子化した。主要コンテナについては、冊子目録、文書目録も作成し、電子化を終えているが、これらは公刊するには至っていない。情報は三井文庫に集中しており、新たな資金を得て公開を図りたい。

内容把握と同時に史料の収集も進め、商社史研究の新たな展開を準備してきた。連携研究者は既に 2,3 の論文を発表したが、本研究が終了した今年度から、分析的研究に向けて体制を立て直し、着手している。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006 年度	6,600,000	1,980,000	8,580,000
2007 年度	3,900,000	1,170,000	5,070,000
2008 年度	2,500,000	750,000	3,250,000
年度			
年度			
総計	13,000,000	3,900,000	16,900,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・経済史

キーワード：在米日系企業・NARA・接收文書・日系商社・日系銀行

1. 研究開始当初の背景

日本経済の発展大きな役割を果たした商社史研究は、国内に残されている営業報告などの史料によって、1970, 80年代に著しく進んだが、商社活動の実態に関する研究は史料的制約により進まなかった。それを可能にするのが米国その他に残されている接收企業関係の史料であることに注目され、かなりの研究者が閲覧の容易な米国国立公文書館の調査を開始した。いくつかの成果を生んだが、米国にとって重要度が低く、多くが日本語であるため、目録は整備されておらず、破損の進行は著しく、また何人もの研究者が同じ史料をアメリカで閲覧するという非効率な状態にあった。

2. 研究の目的

まず豊富な商社関係史料の内容を掌握し、学会の共通財産とすることを第一課題とした。第二に横浜市史資料室、及び本研究代表者が収集したマイクロフィルム・ハードコピー史料の目録を作成すること、第三に他の日本の各機関・個人の手元にある関係史料の掌握を目指すこととした。こうした具体的な目録作成・資料収集を図りつつ、商社研究の新しい展開を模索することを本研究の第四の目的として設定した。

3. 研究の方法

第一の課題については、米国国立公文書館、及びオーストラリア国立公文書館における調査が中心となった。商社関係史料の全貌を把握する為、まず出来る限り多くの史料を見ることを目的とし、各エントリーの概要把握を行い、次に史料的価値のあるコンテナについては内容把握・リストの作成も行った。第二の課題は、横浜市の史料を含め、三井文

庫・國學院大学に集中し、手書きの不完全な目録を入力し、16ミリ、35ミリのマイクロフィルムを電子化し、又ハードコピーの電子化も一部分行った。第三の課題については、経営史学会大会においてパネル報告を行い、本研究に対する理解を求め、いくつかの機関・個人からの協力を得た。第四については、毎年合宿研究会を行って各個人の研究課題を定め、今後とも継続する方向を決めている。

4. 研究成果

2008年の経営史学会大会で「在米日系企業接收文書の研究」と題したパネル報告を行い、米国・豪州に所在する同文書に関心を持つ研究者の参加を得た。九州大学・神戸大学・専修大学などの研究者から情報を得て国内収集済みの同文書の概要を把握した。3年間にわたって行った米国調査の成果と代表者・連携研究者が有していた情報、さらに他の研究者・機関からの情報を整理し、2009年3月に、『在米日系企業接收文書の総合的研究』と題する報告書を刊行し、関係機関・研究者に配布した。そこでは、商社関係史料のすべてのエントリーの概要と、主要エントリーについては各コンテナの概要も記している。冊子目録を作成したコンテナもあるが、それは掲載できなかった。冊子目録を含め、公にできなかった情報はすべて連携研究者の吉川が所属する三井文庫に集中しており、今後、新たな資金を得て公開してゆきたいと考えている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

中村尚史「世紀転換期における機関車製造業の国際競争－英米機関車メーカーを中心として－」湯沢威・鈴木恒夫・橘川武郎・佐々木聡編『国際競争力の経営史』有斐閣、35-58 頁、2009 年、査読無

大島久幸「両大戦間期における海運市場の変容と三井物産輸送業務」『経営史学』43 巻-4 号、3-27 頁、2009 年、査読有

[学会発表] (計 1 件)

上山和雄・吉川容・岡部桂史・落合功「在米日系企業文書の研究」経営史学会第 44 回全国大会、2008 年 11 月 13 日、立教大学

[図書] (計 1 件)

上山和雄『在米日系企業接収文書の総合的研究』私家版、152 頁、2009 年

6. 研究組織

(1) 研究代表者

上山 和雄(UEYAMA KAZUO)
國學院大學・文学部・教授
研究者番号：40137790

(2) 研究分担者

高村 直助(TAKAMURA NAOSUKE)
東京大学・名誉教授
研究者番号：40017801[期間：2006-2007 年度]
老川 慶喜(OIKAWA YOSHINOBU)
立教大学・経済学部・教授
研究者番号：10168841[期間：2006-2007 年度]
大豆生田 稔(OOMAMEUDA MINORU)
東洋大学・文学部・教授
研究者番号：20175251[期間：2006-2007 年度]
吉川 容(KIKKAWA YOU)
(財)三井文庫・研究員
研究者番号：20201460[期間：2006-2007 年度]
渡邊 恵一(WATANABE KEIICHI)

駒澤大学・経済学部・准教授

研究者番号：00267387[期間：2006-2007 年度]

落合 功(OCHIAI ISA0)

広島修道大学・商学部・教授

研究者番号：10309619[期間：2006-2007 年度]

大島 久幸(OOSHIMA HISAYUKI)

高千穂大学・経営学部・准教授

研究者番号：40327995[期間：2006-2007 年度]

岡部 桂史(OKABE KEISHI)

名城大学・経済学部・助教

研究者番号：60386472[期間：2006-2007 年度]

中村 尚史(NAKAMURA NAOFUMI)

東京大学・社会科学研究所・准教授

研究者番号：60262086[期間：2006 年度]

宮地 英敏(MIYACHI HIDETOSHI)

九州大学附属図書館付設記録資料館・准教授

研究者番号：90376575[期間：2006 年度]

(3) 連携研究者

高村 直助(TAKAMURA NAOSUKE)

東京大学・名誉教授

研究者番号：40017801[期間：2008 年度]

老川 慶喜(OIKAWA YOSHINOBU)

立教大学・経済学部・教授

研究者番号：10168841[期間：2008 年度]

大豆生田 稔(OOMAMEUDA MINORU)

東洋大学・文学部・教授

研究者番号：20175251[期間：2008 年度]

吉川 容(KIKKAWA YOU)

(財)三井文庫・研究員

研究者番号：20201460[期間：2008 年度]

渡邊 恵一(WATANABE KEIICHI)

駒澤大学・経済学部・准教授

研究者番号：00267387[期間：2008 年度]

落合 功(OCHIAI ISA0)

広島修道大学・商学部・教授

研究者番号：10309619[期間：2008 年度]

大島 久幸 (OOSHIMA HISAYUKI)

高千穂大学・経営学部・准教授

研究者番号：40327995[期間：2008 年度]

岡部 桂史 (OKABE KEISHI)

名城大学・経済学部・助教

研究者番号：60386472[期間：2008 年度]

中村 尚史 (NAKAMURA NAOFUMI)

東京大学・社会科学研究所・准教授

研究者番号：60262086[期間：2008 年度]